

ポ ポ ポ コ 新聞

[Ponpoko News]

第 57 号



=発行=

2014年10月12日

喜多見ポポコ会議

www7.ocn.ne.jp/~ponpoko/



快獣ブースカ

昭和41~42年、日テレ水曜19:00~19:30

円谷プロの『ウルトラQ』の「カネゴンの繭」というエピソードをベースに、「もしも家庭に怪獣が住んでいたら?」というテーマで、子ども達の視点に立って作られたコメディです。「バラサ、バラサ」「シオシオのパー」などの「ブースカ語」が当時の子どもたちの間で流行りました。【質 喜多見】という看板が出てくるという情報があります。DVD販売あり。



ウルトラセブン

昭和42~43年、TBS日曜19:00~19:30

大人気の『ウルトラマン』に続く円谷プロの空想特撮シリーズ第3弾、『ウルトラセブン』ではM78星雲から来た宇宙人としての視点が明確で、ときには地球人とのギャップもドラマの主題となっています。【慶元寺】が出てくるという情報があります。DVD販売あり。



怪奇大作戦

昭和43~44年、TBS日曜19:00~19:30

円谷プロが『ウルトラセブン』の後番組として制作した空想科学ドラマの名作、警察も手に負えないような、難事件・怪事件を科学の力で解決するSRI(科学捜査研究所)の活躍を描いた物語です。第16話「かまいたち」で、犯人・小野松夫(加藤修)が友人達と待ち合わせていたのが【喜多見駅】(写真上)。そば屋、不動産屋、三角屋根の駅舎、勸銀、珍しい紅白の電車などが登場します。この紅白の電車は前年の昭和42年に新宿小田急百貨店が全館開店したのを記念して塗装されたものだそうです。DVD販売あり(写真下)。

ロケ地・喜多見 昭和編

懐かしの風景に 出会えるかも

喜多見は映画やドラマで使われることがよくあります。今回は昭和のドラマの中から探してみました。現在、DVDとして販売されているドラマもあり、昔の風景を動画で楽しめそうです。



『怪奇大作戦』に登場する昔の喜多見駅 ©円谷プロ



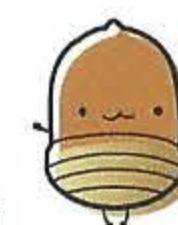
「怪奇大作戦」DVD-BOX(上下巻)好評発売中!
販売元:東映株式会社・東映ビデオ株式会社
発売元:円谷プロダクション ©円谷プロ



ケンちゃんトコちゃん

昭和45~46年、TBS木曜19:30~20:00

『ジャンケンケンちゃん』に続く「ケンちゃんシリーズ」の第2作。第11話「ぼくはコーモリだあ!」で、男の子グループと女の子グループが喧嘩をしている最中に女の子たちと話をしたとして男の子グループにケンイチ(宮脇康之)が連れてこられたのが【喜多見不動堂】です。



金メダルへのターン

昭和45~46年、フジ月or木19:00~19:30

ミュンヘンオリンピックを目指して水泳に打ち込むスポ根ドラマ。空中を飛んで全ての選手を追い越す「飛び魚ターン」、隣のコースが鳴門の渦潮になってしまう「渦巻きターン」、津波をおこし両脇の選手を妨害する「ジェットターン」、水上を切るような「ロケットターン」といった技が多数登場。第31話で鮎子(梅田智子)が黒木(水谷邦久)を呼び出して待ち合わせたところが【喜多見駅】です。



スーパーロボット レッドバロン

昭和48~49年、日テレ水曜19:00~19:30

世界征服を企む悪の組織「鉄面党」とそれに立ち向かうSSI(科学秘密捜査隊)、スーパーロボットレッドバロンを唯一操縦できる紅健(くれない けん、岡田洋介)の物語。第15話「予告された罠」で紅健が逃走するシーンに使われたのが【喜多見商店街】。紅健が水を飲む向かいが丸屋さん、通りの右にクリーニング屋、左先に安田生命の看板が見えます。DVD販売あり。

浜名湖の池から直送

鰻・季節料理 明 (min)



喜多見9-4-2、電話5761-4165、月曜休み

喜多見駅近くで「鰻」と書かれた暖簾を発見！代表・竹田巧明さんと料理長・福田洋佑さんにお話を伺いました。

笑顔の素敵な竹田さんは日本の食文化が好きで、鰻専門店でもアルバイトをしていたところ、同僚の料理人・福田さんと意気投合し、2人で鰻の店を出すことになりました。店名は竹田さんの名前にある「明」、毎日明るく接客したいという思いも込めて付けました。福田さんは浜松出身、喜多見は地元・浜松の雰囲気似ていて、南天や山椒が普通に庭先にあるのを見て、ここなら落ち着いて仕事ができそうだと喜多見に決め、昨年12月に開店しました。

鰻は浜名湖の池から直送、季節により肉質や大きさは変わりますが、その都度調理法を合わせているので、通年で活きの良い鰻本来の味わいを堪能できます。魚も地魚、今の時季はマンタイ、アカアシエビ、カンパチ、ハゼが旬です。お酒は國香や喜久酔など、鰻や魚と同じ静岡のものが合うそうです。

美味しくて感動しますよ。

期待のU30舞台役者

加藤 諒さん



デザインの仕事は「カトリヨウ」でしています

喜多見小中学校出身の加藤諒さんが津和野諒という名で役者をしていると聞き、「黄金のコメディフェスティバル」出演後にインタビューしました。

— 子どもの頃の思い出は？

「友達と遊ぶのも好きでしたが、イラストを描いたり、ラジオっぽく話す自分の声を録音したり、内側にあるものを表現するような遊びも好きでした」

— 役者になろうとしたきっかけは？

「高校3年の文化祭でやった劇が楽しくて、大学で演劇サークルに入り、他大学の劇にも参加し、そこで知り合った人達の劇にも加わり、今もフリーで色々な劇団に参加しています」

— 役者をしてみていかがですか？

「舞台では、お客さんが目の前にいて、その場で反応がすぐに返ってきます。特にコメディは、笑いのタイミングをみながら皆で作っていく感覚が面白いです。裏方の作業や宣伝美術もします。舞台で挑戦したいことも沢山ありますし、映画やドラマにも興味があります」

公演予定：11/7-19 新宿眼科画廊、1/8-11 王子小劇場

野川ガサガサ特別編

NHK番組に協力



アユを採った時の話をしました

NHKで野川の番組を作りたいと相談があり、番組に協力して9月6日(土)、野川ガサガサ特別編を行いました。参加者は大人19・小学生12・幼児11の42人、とても賑やかになりました。

まずは水道橋・茶屋道橋間で出会いのシーン。思い思いの場所でガサガサしていたところに、下流のほうから歩いてきた旅人・乙葉さんが「何してるんですか～」「魚を採ってるんです～」「何が採れるんですか～」「カメが採れました～」。そして乙葉さんも野川に入りガサガサに参加。喜多見大橋・中野田橋間で常連の神田君(小6)に教えてもらおうと、すぐにシマドジョウやエビが採れました。山澤さん・高橋さんにはアユが採れた時の話も聞き、最後はみんな片手に玉網をもち手を振って別れのシーン。去って行ったと思ったら、「ありがとうございました～」「お疲れ様でした～」と戻ってくる乙葉さんと撮影隊。楽しい貴重な体験ができました。

10月30日(木)21時からNHK BSプレミアム『発見！体感！川紀行』です。

喜多見児童館 夢プロジェクト

宇奈根の渡しが復活



対岸に「世田谷区のみなさんありがとう」の横断幕

小学1～5年生の25人が地域の歴史を調べ、渡し船「夢叶丸」を作り、9月23日(祝)、対岸の子ども達も参加して一日だけ宇奈根の渡しを復活しました。

INFORMATION

野川の事前調査&ごみ拾い

[日時] 10月13日(月祝)10～12時

秋の野川ガサガサ

[日時] 10月18日(土)10～12時

[持物] 長靴または濡れてもいい靴

[申込] 喜多見児童館tel. 3417-9151

※どちらも次大夫堀公園築山横の階段集合

喜多見のお宝紹介！

『ポンポコ新聞』掲載のお宝を展示・紹介しつつ、お宝情報を募集します。

[日時] 11月3日(月祝)9:30～11:30

[場所] 区民まつり会場(喜多見小学校校庭の啓発コーナー)